

# KiKiの広場

2016年 3月 1日

cafe NO.65  
KiKi



今年に入ってからずっと不安定なお天気が続く中、それでもやはり春の足音は確実に近づいてきているのを感じます。梅の木にメジロの姿を見ると、心から「春が来た～!!」とほっとします。何気ない当たり前の風景が、当たり前にやってくることに感謝せずにはられません。

もう5年、いやまだ5年、今年も3月11日がやってきます。心が引き裂かれるようなあの光景に、今も言葉は見つからず、ただただ祈るばかりです。全ての方に、1日も早くあたたかい春がやってきますように!

## 3月の予定

|        |      |
|--------|------|
| 毎日曜日   | 定休日  |
| 9日(火)  | 休館日  |
| 21日(月) | 臨時休業 |
| 29日(火) |      |

🍰「今月のケーキ」…「ストロベリーケーキ」350円 🍰 しっとり感のあるスポン



ジに、甘さを控えたいちごクリームをはさみ、ダイスカットのいちご果肉をトッピング。新鮮ないちごと、たっぷりの生クリームを味わいながら、季節感もお

季節限定!! (3月まで)こっちもよろしく!!

「北海道チーズの2層ケーキ」350円



今月のお気に入り…「春の気配を感じる絵本～なんだかウキウキ～」

～「ちょうちょうひらひら」「きんのたまごのほん」「くいしんぼうのはなごさん」「うさぎのだいじなみつけもの」などなど～



「ちょうちょうひらひら」は、詩人まどみちおさんの軽快な言葉のリズムと、「わたしのワンピース」の西巻茅子さんの優しい絵が素敵にマッチしていて、春のあたたかさを感じほんわかした気持ちになります。

「きんのたまごのほん」は、どのページも美しい色とりどりの花々で額縁のように彩られているとても美しい絵本です。主人公のうさぎが卵の中に何が入っているか、一生懸命想像しながら卵をいじる姿も微笑ましく、お話も可愛らしいです。



今月の本棚…「長谷川集平の世界」

～「はせがわくんきらいや」「パイルドライバー」「トリゴラス」「かじゅうのうろこ」「プレゼント」「トリゴラスの逆集」など～



「はせがわくんきらいや」を、20歳の時に描いたという長谷川集平さんの特集です。自身もその粉ミルクを飲んだという森永ヒ素ミルク中毒事件を扱いながら、主人公のぶっきらぼうな言葉や態度の中に、障がいをもったはせがわくんに対する思いがあふれ出て、何度読んでも涙が出てしまいます。

「パイルドライバー」は、まさしくプロレスの技のことです。少年の淡い恋心を、頷きながら読んでいく相手の女の子が出てきたとたん、「え?え?えー!?!」という展開でぐいぐい引きこまれていきます。常に社会に目を向けて作っているような長谷川さんの絵本は、グサッと心に残り、繰り返し読んで考えさせられます。「ホームランを打ったことのない君に」という作品では、通行人の中におんぶされているはせがわくんを見つけて、胸がキュン!となりました。



## ほっとフレイク

今年も別れの季節がやってきました。受付の学生スタッフ2人の旅立ちです。彼らは受付業務だけでなく、カフェのお手伝いも率先してやってくれていました。洗い物1つとっても、どれほど助けてもらったことか。珈琲を淹れたりピザを焼いたりも自ら覚えて、夜のケータリングは彼らの出番となりました。

『ヒストリア字部』は、人との出会いの場でもあります。大変な思いもたくさんしたことでしょう。でもそれらが全て糧となって、職種は違ってもきっと今後の人生に役に立つと思います。

これからも『一期一会』の精神で、ひたむきに頑張ってもらいたいと願っています。

2人との出会いに感謝しています。ありがとうございました。

